



学校だより

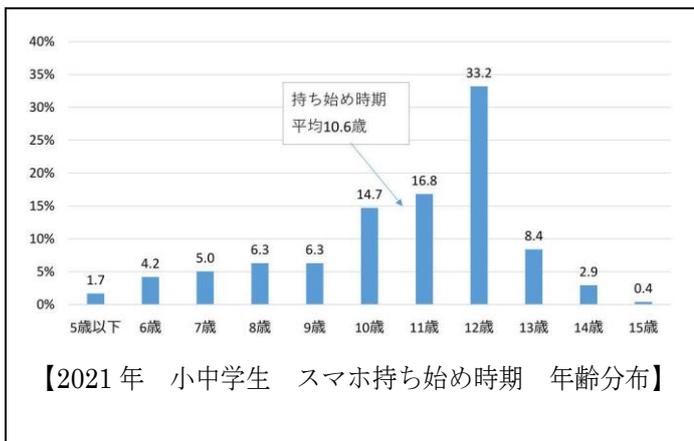


墨田区立第三吾嬬小学校
 校長 川中子登志雄
 令和4年12月1日
 12月号

情報モラルと主体性

副校長 手山 晃洋

私が携帯電話（PHS）を初めて持ったのは大学生のときです。あまりに嬉しくて、友達と長電話をしたり、何通ものメールのやり取りをしたり、トイレの中にも持ち込むほどでした。一人暮らしをし、親元を離れた自分にとっては、自由で楽しい時間を過ごすための必需品でしたが、反面、大学の授業やゼミ等とのバランスを取ることができていたかは、今、振り返ると疑問が残ります。



こちらのグラフは、モバイル社会研究所（NTT ドコモの社会科学系の研究所）が、2019年から2021年にかけて、関東1都6県の小中学生に行った、[スマートフォンに関する調査結果](#)の一つです。この結果によると、小学校の高学年から増加し、中学校入学の時期に近い12歳に大きなピークが現れています。

スマートフォンは、私がかつて持っていた携帯電話とは異なり、通話やメールだけでなく、インターネット、ゲーム、カメラ等、様々な機能がついています。それは、教育委員会から学校を通じて、お子さんに渡しているタブレット端末も同様です。

本校でも、タブレット端末の活用は、学習・特別活動等、全教育活動において率先して行っていますが、同時に情報モラル教育にも力を入れています。各ご家庭においても、使用目的、保管場所、使用時間等の約束・きまりをつくり、正しく使うことができているかの確認をさせていただいているところだと思います。

ただ、それら（スマートフォン・タブレット端末等）は、子供のポケットやカバンにすっぽりと入る物です。約束やきまりをやぶったり、フィルタリングを外したりすることは、ひょっとしたら大人が想像している以上に簡単なことかもしれません。やはり、大切なのは主体性であり「自ら学び、考え、行動する」ということです。お子さんの状況や各ご家庭の考えによって、細かな点は異なってくると思いますが、ぜひ、この機会にタブレット端末の正しい使い方について、ご家庭で、一緒に確認し、話し合っただけければと思います。よろしければ、全国の高等学校等の生徒が作成した「情報モラル 日めくりカレンダー」もご活用ください。

*cocoo メールでは完全版の pdf データを添付します。

自立 自ら学び、考え、行動する人 共生 思いやりをもち、共に生きる人 健康 しなかやかで丈夫な、こころからだをもつ人



【情報モラル 日めくりカレンダーとは・・・】

令和4年8月に開催した第46回全国高等学校総合文化祭東京大会ボランティア部門大会のフィールドワークとして「SNS教室などのデジタル支援活動に関わる活動を学ぶ」コースを設置しました。その活動でSNSを使い始めた小学生・中学生等に対して正しい利用法を楽しく学んでもらいたいと考え、全国から参加した高等学校等の生徒が、「情報モラル 日めくり カレンダー」を作成しました。そこで、高等学校等の生徒が、主体的に企画・作成に取り組んだ活動の報告として送付します。（東京都教育庁より）

〈学年の様子〉

6年生「社会科見学」

去る10月17日（月）に社会科見学に行きました。見学場所は『国会議事堂』と『深川江戸資料館』です。感染症対策のため、学年を二つに分けての見学になりました。

国会議事堂では、参議院特別体験プログラムに参加しました。児童の中から、議員や委員長、大臣を選出し、実際に委員会を体験しました。役割を体験した児童は、緊張した様子で、決められたコメントを読み上げることができました。また役割にならなかった児童も委員会を傍聴して、投票に参加しました。実際に開票が行われると、児童も感動していました。委員会終了後は、国会議事堂の中を見学しました。建物の中は広く、それぞれの政党の部屋や天皇陛下のための部屋など様々な施設や部署がありました。国の政治は多くの人に支えられていることを学びました。

深川江戸資料館は江戸時代の町並みが再現された施設です。八百屋には野菜のレプリカが陳列され、児童は現在の八百屋の様子と比較しながら、一生懸命メモを取っていました。また長屋には様々な職業の人が住んでおり、生活の様子について児童から解説員に質問をする場面もありました。

社会科見学を通して、教科書や資料集では感じることでできない体験をすることができました。これから卒業に向けて、僅かな期間になります。学年全体で力を合わせて、小学校生活最後の思い出をつくっていきたいと思います。



〈三吾ニュース〉

三吾小自慢の芝生がよみがえりました！

2週間の養生期間を終えて、芝生が再び使えるようになりました。養生期間が終わるのを待ちわびていた児童は、芝生の上を走り回ったり、寝転がったりする様子がありました。これからも三吾小自慢の芝生を守っていきます！！



〈行事の様子〉

体育学習発表会の様子

今年度の体育学習発表会も晴天に恵まれ、気持ちのよい天気の中で行うことができました。各学年の種目を昨年度までは2種目としていましたが、今年度は団体競技を追加して3種目にし、赤組と白組で競い合う元の形に少しだけ戻しての実施でした。子供たちは、久しぶりの団体競技に楽しさと不安を滲ませながらも、一生懸命に取り組むことができました。6年生の「お助け綱引き」では、1勝1敗で並び、白熱した3回戦を見ることができました。閉会式での成績発表では、3年ぶりに喜びと悔しさがいっぱい溢れる子供たちの姿が見られ、どの児童も体育学習発表会に精一杯の力を出し切った様子が分かりました。保護者の皆様、PTA本部役員の皆様、地域の皆様、当日までたくさんのご協力をいただきまして、ありがとうございました。



音楽学習発表会の様子

11月25日（金）、26日（土）に本校体育館を使い、音楽学習発表会が行われました。25日は児童鑑賞日でした。1, 2校時に1・2・3年生、3, 4校時に4・5・6年生がそれぞれ発表と鑑賞を行いました。1年生は初めての音楽学習発表会で緊張していましたが、元気な声で合唱『さんぽ』を歌うことができました。合奏『ミッキーマウスマーチ』も学年でタイミングを合わせて演奏することができました。2年生は、楽器を使っての演奏に初めて挑戦しました。合奏『マンボNo. 5』では、鍵盤ハーモニカやキーボード、木琴、打楽器、バスマスターなど、様々な楽器を使って演奏しました。3年生は、合唱『怪獣のバラード』では、リズムに合わせて左右に体を揺らしながら、テンポのよい曲を歌い上げました。4年生は連合音楽会で演奏した曲目に加え、琴合奏『さくらさくら』に挑戦しました。日本の伝統楽器を演奏して、文化に触れる貴重な機会になりました。5年生は、『手拍子 クラッピングファンタジー』では、二つのパートに分かれて手拍子を合わせたり、強弱を付けてダイナミックに演奏しました。6年生は、合奏『バック・トゥー・ザ・フューチャー』に挑戦しました。難易度の高い曲であったため、本番の前日までなかなか学年全体で演奏が揃いませんでした。しかし、本番では学年で一致団結して演奏することができました。各学年、音楽学習発表会を通して、技術はもちろん、仲間と一つのものを作り上げる「共生」の心も深めることができました。



〈お知らせ〉

令和4年度 第5回校長「語らいサロン」のご案内

日時 令和4年12月10日(土) 9:00~10:00

場所 3階 図書室 (いつもと違います!)

テーマ 主体性の育成プログラム「リーダー・イン・ミー」について

来年度から本格的に主体性の育成に取り組むために、スティーブン・R・コヴィー博士の名著『7つの習慣 人格主義の回復』を学校教育に応用したプログラム、「リーダー・イン・ミー」についてご紹介したいと考えています。当日は、フランクリン・コヴィー・ジャパン・エデュケーションチームのスクールパートナーの方をゲストにお呼びして、プログラムについてお話しいただく予定です。ぜひ多くの保護者の皆様にご参加いただければ幸いです。(この「語らいサロン」の様子は、後日、校長室動画通信でも公開する予定です。)

